



イチゴの新品種「めぐみ」

「めぐみ」は徳島県農業研究所が平成10年度に育成したイチゴの新品種です。

平成4年に「とよのか」と「アイベリー」の交配実生株を母に、「とよのか」を父として交配したものの中から選抜されたもので、平成14年に種苗登録されました。

収穫始めがかなり早く、果実の大きさがかなり大きく、果実の揃いが良く糖度が高く、品質・収量に優れ省力的な、促成栽培に適する品種です。

品種の特性は次のとおりです。

- 9月中旬に定植すると11月中旬から収穫できる。
- 草勢はやや弱く、ランナー数はやや少ない。
- 果房当たりの花数は平均5～7個と少ない。
- 果実は大きく約20gで、揃いがよい。
- 果皮色は鮮赤で着色が良い。
- 果肉色は淡赤。
- 糖度は11～12。
- 3月末までの収量は10a当たり約4t。
- 花数、果実数が少なく、収穫調製作業が軽減でき省力的である。



「めぐみ」の果実



普及のために

平成14年現在、上板町などで約1haが作付けされています。栽培農家の方々は「めぐみ」の省力的、大果、多収であるところを高く評価して下さっています。

農業研究所は産地のみなさんとともに栽培技術の改善に取り組んでいます。新しく栽培を希望する方は、普及センター、JAとご相談の上、下記までご連絡ください。

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター

農業研究所

野菜園芸担当

TEL (088) 674-1660

FAX (088) 674-3114

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>